

# ISO55001 の認証を取得

## ～一般公共インフラ分野では“日本初”～

水資源機構は、ダムや水路などの施設を適切に建設・管理することにより、国民生活になくてはならない「水」の安定供給を行うとともに、みなさまの暮らしを守っています。

このたび、施設を建設・管理する機構の仕組み（アセットマネジメントシステム）が国際規格である ISO 55001 に適合していることが認められ、認証を取得しました。

これを機に、一層の業務の効率化、適切な内部統制を実施し「安全で良質な水を安定して安くお届けする」という経営理念の実現に努めてまいります。



登録証授与式の様子

### ○認証取得の内容について

ISO 55001 の認証を取得した範囲は次のとおりです。

(1) 組織名称及び代表者

独立行政法人水資源機構

本社及び総合技術センターの関係部署

並びに沼田総合管理所及び利根導水総合事業所

代表者名：理事長 甲村 謙友

(2) 所在地（登録サイトの筆頭住所）

〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2

(3) 登録範囲

水資源の開発又は利用のための施設の建設及び管理

(4) 登録日

平成28年8月19日

## ○ISO 55001 について

ISO 55001 は、インフラ等のアセットマネジメントシステム（以下「AMS」という。）に関する国際規格です。

（公財）日本適合性認定協会が定める、ISO 55001 の日本国内における認定分野は、表のとおり 10 のカテゴリーに分かれており、一般公共インフラ分野での認定は、水資源機構が日本で初めてとなります。

表 ISO 55001 認定分野一覧

No	カテゴリ	関連する活動又はアセットの例
1	一次産業	
2	製造業	食品加工、衣料品製造、木製品製造、印刷・出版、ゴム・プラスチック製造、電気・電子機器の製造 化学製品製造、鉄鋼・金属製造、石油精製、造船、紙・パルプ製造、セメント・セラミック製造、半導体製造
3	鉱業、採石業	鉱物の分離、製錬・精錬、石油・ガスの掘削
4	原子力産業	
5	運輸	空港、航空機 線路、駅施設、列車 港湾施設、船舶 有料道路、バス、タクシー
6	一般公共インフラ	一般道、橋梁、トンネル、砂防/海岸施設、ダム、治水施設、公園
7	ユーティリティ	電気供給、ガス供給、水道、下水道、リサイクルリング、廃棄物処理
8	施設	医療施設、研究所、商業施設、教育施設、事務所、ホテル、小売施設、倉庫（軍の施設を除く）
9	情報技術、金融、電気通信	
10	防衛	

※（公財）日本適合性認定協会HP掲載資料より機構が作成